

教養課程における保健体育教育の実情調査報告書

昭和47年5月

国立大学協会

教養課程に関する特別委員会

目 次

まえがき	1
第一部 教官に関する質問事項	
Ⅰ 保健体育担当教官の所属について	1
Ⅱ 保健体育担当教官数について	2
1) 保健体育担当教官の員数	2
2) 教官1人当りの担当学生数	6
Ⅲ 保健体育担当教官の授業負担について	7
1) 1週間の授業回数	7
2) 教養課程の保健体育の授業以外の講義・演習等の負担	8
3) 1回の時間数	9
Ⅳ 保健体育担当教官の研究条件について	10
1) 海外における研究旅行もしくは留学	10
2) 国内研修	11
Ⅴ 保健体育担当教官の新規採用について	12
1) 困難がある	12
2) 困難な理由	13
3) 採用の方法	14
第二部 学生の履修に関する質問事項	
Ⅰ 保健体育の講義および実技について	15
1) 保健体育の講義	15
2) 体育実技	16
Ⅱ 保健体育の履修方法について	20

Ⅲ 保健体育の学習条件について	21
1) 講義の学習条件	21
2) 実技の学習条件	22
3) 授業クラスの大きさとその数	23
第三部 施設に関する質問事項	
Ⅰ 体育関係施設	24
1) 保有している運動施設について	24
2) トレーニングルームについて	25
3) 更衣室, ロッカー, シャワー	26
4) 学内体育施設, 用具の管理・保繕職員について	28
5) 体育施設使用調整機関について	29
Ⅱ 保健管理施設	30
Ⅲ 体育施設の一般開放について	31
第四部 課外活動に関する質問事項	
Ⅰ 課外体育活動の組織について	32
1) 運動部の組織	32
2) 同好会及体育・スポーツ行事のための組織	33
Ⅱ 運動部・同好会・スポーツ行事の種目について	34
1) 運動部	34
2) 同好会	35
Ⅲ 個人の自主的体育・スポーツ活動について	36
第五部 改革状況に関する質問事項	

教養課程における保健体育教育の実情調査報告書

第一部 教官に関する質問事項

まえがき

この報告書は、教養課程における保健体育教育の改善をはかるため、各国立大学における保健体育教育の実情についてアンケート調査を行ない、ここに、これを集計して、今後における保健体育教育の改善をはかる際の基礎資料に供しようとするものである。

昭和47年5月

国立大学協会

教養課程に関する特別委員会

(注)

各大学よりの回答(昭和47年3月31日現在調査)を入学定員数に応じて下記のA・B・Cの3グループに分けて集計した。

A=入学定員 1000人以上の 26大学(入学定員総数 40711)
 B= " 500~999人までの 30大学(" 21280)
 C= " 499人以下の 15大学(" 4347)
 回答大学数(A+B+C) 71大学(" 66338)
 無回答大学数 4大学(" 1765)

I 保健体育担当教官の所属について

グループ 所属	A	B	C	計
イ 教養部もしくは教養学部	大学 20	大学 11	大学 1	大学 32
ロ 教育学部	3	10	1	14
ハ その他の各種学部 に分散して所属	0	2	5	7
ニ その他	3	7	8	18

(なおその他の内訳は次のとおりである)

○ 1つの学部 に所属する	1	2	7	10
○ 分校所属	1	0	0	1
○ 特定の所属を明示 せず	1	5	0	6
○ 現在体育教官なし	0	0	1	1

II 保健体育担当教官数について

1) 保健体育担当教官の員数(実員数)但し、()内の数値は各任用別教官総数を100とした場合の%

A-(26大学 入学定員総数 40,711)

職 名		講 義	実 技	講 義 実 技	計		
					1	2	3
専任	教 授	7名	8名	25名	40名 84 26 36	名 150 (80.6) 36 (19.4)	名 186 (100)
	助 教 授	4	33	47			
	講 師	0	12	14			
	助 手	0	36	0			
兼任	学内併任	教 授	8	15	40	107 (84.9) 19 (15.1)	126 (100)
		助 教 授	7	33	57		
		講 師	2	4	10		
		助 手	0	17	19		
	非常勤講師		27	210	10	247	

B-(30大学 入学定員総数 21,280)

職 名		講 義	実 技	講 義 実 技	計		
					1	2	3
専任	教 授	1名	2名	24名	27名 30 11 9	名 68 (88.3) 9 (11.7)	名 77 (100)
	助 教 授	1	11	18			
	講 師	0	3	8			
	助 手	0	7	2			
兼任	学内併任	教 授	8	13	51	134 (88.7) 17 (11.3)	151 (100)
		助 教 授	7	25	66		
		講 師	2	6	17		
		助 手	1	11	17		
	非常勤講師		24	120	8	152	152

C-(15大学 入学定員総数 4,347)

職 名		講 義	実 技	講 義 実 技	計		
					1	2	3
専任	教 授	2名	3名	5名	16 4 4	名 30 (88.2) 4 (11.8)	名 34 (100)
	助 教 授	3	7	6			
	講 師	1	2	1			
	助 手	0	1	3			
兼任	学内併任	教 授	1	1	3	11 (73.3) 1 (26.7) 4 (26.7)	15 (100)
		助 教 授	1	4	7		
		講 師	0	1	1		
		助 手	0	4	4		
	非常勤講師		9	33	2	44	44

計(A+B+C)71大学 入学定員総数 66,338

職 名 / 担 当		講 義		実 技		講 義 と 実 技		計		
		実 数	小 計	実 数	小 計	実 数	小 計	1	2	3
専 任	教 授	10名	19名 (100)	13名	81名 (64.8)	54名	148名 (96.7)	77名	248 (83.5)	297 (100)
	助 教 授	8		51		71		130		
	講 師	1		17		23		41		
	助 手	0	0	44	44 (35.2)	5	5 (3.3)	49	49 (16.5)	
兼 任	教 授	17	36 (97.3)	29	102 (76.1)	48	114 (94.2)	94	252 (86.3)	292 (100)
	学 内 助 教 授	15		62		53		130		
	講 師	4		11		13		28		
	助 手	1	1 (2.7)	32	32 (23.9)	7	7 (5.8)	24	40 (13.7)	
	非常勤講師	60		363		20		443	443	443

2) 教官の1人当たりの担当学生数

教官任用数別 / グループ	A	B	C	計
講師以上専任教官平均担当学生数	271.4人	312.9人	144.9人	267.5人
助手を含めた専任教官平均担当学生数	218.9	276.4	127.9	223.4
専任及び学内併任教官平均担当学生数	130.5	93.3	88.7	112.6

Ⅲ 保健体育担当教員の授業負担について

1) 1週間の授業回数(いわゆるコマ数 または枠数)

なお、()内の数値は平均コマ数

グループ 担当授業名 職 名		A		B		C		計		
		講 義	実 技	講 義	実 技	講 義	実 技	講 義	実 技	
専 任	教 授	0.5～4 (2.2)回	2～15 (5.0)回	1～8 (2.6)回	1～10 (4.1)回	0.5～4 (1.8)回	1～10 (4.6)回	0.5～8 (2.3)回	1～15 (4.5)回	
	助 教 授	0.5～3.5 (2.0)	3～18 (6.2)	0.5～8 (2.8)	2～14 (4.8)	1～2 (1.0)	3～16 (5.3)	0.5～8 (2.2)	2～18 (5.5)	
	講 師	1～2.5 (1.1)	4～11.5 (5.7)	1～7 (1.9)	2～8 (4.6)	1.5 (1.5)	5.5 (5.5)	1～7 (1.6)	1～11.5 (4.9)	
	助 手	0	3～24 (7.0)	0	4～7.5 (5.8)	0	4～10 (6.6)	0	3～24 (6.4)	
兼 任	学 内 併 任	教 授	1～5 (2.6)	0.5～4 (1.6)	1～2 (1.4)	1～5 (2.4)	6 (6.0)	1～6 (5.3)	1～6 (2.1)	0.5～11 (3.6)
		助 教 授	0.5～3 (1.1)	0.5～10 (2.6)	1～7 (2.0)	2～11 (4.4)	0.5～5 (1.6)	2～6 (4.3)	0.5～7 (2.0)	0.5～11 (3.6)
		講 師	1～4 (2.2)	1～13 (5.0)	1 (1.0)	1～3 (1.5)	0	3 (3.0)	1～4 (1.8)	1～13 (3.3)
		助 手	0	1～7 (3.2)	0	1～6 (2.6)	0	1～3 (3.5)	0	1～7 (2.7)
	非 常 勤	1～5 (2.1)	1.5～24 (4.4)	1～7 (1.8)	0.5～26 (4.3)	0.5～4 (1.5)	1～7 (3.5)	0.5～7 (1.8)	1.5～24 (4.4)	

2) 教養課程の保健体育の授業以外に講義演習等を学内（他学部を含む）で担当している教官数及びその講義演習の授業の1週間の合計回数は次表のようになる。

グループ 教官及び授業回数	A	B	C	件
教官数	69名	110名	33名	212名
1週間の合計授業回数	577回	225回	51回	333回

なお、上記の場合教養課程の保健体育授業の負担は次表のようになる。

グループ 取扱	A	B	C	計
その分だけ軽減される	5 大学	7 大学	0 大学	12 大学
若干軽減される	1	1	0	2
軽減されない	12	8	3	23
軽減される否かは年度の状況によつて異なる	2	1	0	3

3) 1回の授業時間の長さは次表のようになる。

時間 グループ 担当	50分 以下	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分	130分
講義	A	大学 2	大学 0	大学 0	大学 1	大学 14	大学 9	大学 0	大学 0
	B	7	0	0	0	5	16	2	0
	C	3	0	2	1	3	4	2	0
	計	12	0	2	2	22	29	4	0
実技	A	0	0	0	1	15	9	0	0
	B	0	0	0	2	5	20	1	1
	C	0	0	0	1	3	6	3	1
	計	0	0	0	4	23	35	4	2

IV 保健体育担当教官の研究条件について

1) 海外における旅行、もしくは留学等 いわゆる在外研究に従事した経験

のある教官のいる大学、及び経験教官数は次表のようになる。

()内は、専任教官総数に対する経験者の%

グループ	項目	有 無		経験した教官数					教官数計
		有	無	1名	2名	3名	4名		
A		大学 14	大学 12	大学 5	大学 3	大学 4	大学 2		31人 (16.7)
B		13	17	12	1	0	0		14 (18.2)
C		8	7	5	2	0	1		11 (32.3)
計		35	36	22	6	4	3		56 (18.9)

2) 国内研修をした教官数

なお分母数はそれぞれのグループの保健体育科専任教官数であり()内は専任教官数に対する経験者%

グループ	項目	有 無		経験した教官数					教官数計
		有	無	1名	2名	3名	4名	5名以上	
A		大学 14	大学 12	大学 6	大学 0	大学 0	大学 1	大学 7	77(37.6)
B		13	17	13	4	1	3	2	63(81.8)
C		7	8	2	4	1	0	0	13(59.1)
計		34	37	21	8	2	4	9	146(49.2)

V 保健体育担当教官の新規採用について

1) 困難があるか ()内は各グループ毎、及び全調査校を母数とした%

困難度	グループ	専 任				非 常 勤			
		A	B	C	計	A	B	C	計
イほとんど困難はない		大学 11 (42.3)	大学 11 (36.7)	大学 10 (66.7)	大学 32 (45.1)	大学 6 (23.1)	大学 9 (30.0)	大学 7 (46.7)	大学 22 (31.0)
ロやや困難		7 (26.9)	11 (36.7)	1 (6.7)	19 (26.8)	11 (42.3)	14 (46.7)	5 (33.3)	30 (42.3)
ハきわめて困難		7 (26.9)	7 (23.3)	4 (26.7)	18 (25.3)	8 (30.7)	6 (20.0)	2 (13.3)	16 (22.5)
無回答		1 (3.8)	1 (3.3)	0	2 (2.8)	1 (3.8)	1 (3.3)	1 (6.7)	3 (4.2)

2) 困難な理由

理 由			グループ			
			A	B	C	計
イ 地 域 的 理 由			大学 8	大学 9	大学 1	大学 18
ロ 経 済 的 理 由			3	0	2	5
ハ 研 究 条 件			0	1	0	1
そ の 他	主 に と し て 専 任	研究能力と実技 指導の調和	1	4	0	5
		定 員 が な い	3	5	6	14
		教官構成上の問 題等	1	1	2	4
	主 勤 と し て 非 常	適 任 者 が	2	1	1	4
		時間調整が難し い	2	1	0	3
		そ の 他	0	2	0	2

3) 採用方法()内は各グループ毎及び全調査校を母数とした

グループ 採用の方法	A	B	C	計
イ 公募	11 (423)	14 (467)	1 (67)	26 (366)
ロ 学内教官の推薦	11 (423)	13 (433)	11 (733)	35 (498)
ハ 時には公募時には学内の推薦	3 (115)	2 (67)	1 (67)	6 (85)
ニ 無回答	1 (38)	1 (33)	2 (133)	4 (56)

第 二 部 学生の履修に関する質問事項

I 保健体育の講義及び実技について

1) 保健体育の講義

グループ 主 題	主として体育的立場からのもの								主として保健的立場からのもの							
	1 体育原理	2 社会体育	3 スポーツ・レクリエーション論	4 体育スポーツ史	5 体育心理	6 トレーニング論	7 キネシオロジー	8 その他	1 運動生理	2 発育・発達・栄養	3 健康と体力	4 保健衛生	5 環境衛生	6 疾病論	7 スポーツ障害	8 その他
A	12	13	8	9	2	12	9	0	11	6	21	6	26	9	6	19
B	14	17	17	9	5	12	6	3	11	2	12	9	22	5	4	20
C	12	5	7	6	5	6	3	5	7	4	7	5	15	5	4	11
計	38	35	32	24	12	30	18	8	29	12	40	20	63	19	14	50

(注) 数値の単位は大学

2) 体 育 実 技

A 開講スポーツ種目数と種目

a 開講種目数 ()内は各グループ毎、及び全調査校を母数とした%

種目数 グループ	5 種目 以下	6 ~ 7 種目	8 ~ 9 種目	10 ~ 11 種目	12 ~ 13 種目	14 ~ 15 種目	16 種目 以上
A	0 大学	3 大学 (11.5)	7 大学 (26.7)	6 大学 (23.1)	4 大学 (15.4)	5 大学 (19.2)	1 大学 (3.8)
B	1 (3.3)	1 (3.3)	7 (23.3)	15 (50.0)	4 (43.2)	0	2 (6.7)
C	1 (6.7)	4 (26.4)	2 (13.2)	2 (13.2)	4 (26.4)	1 (6.7)	1 (6.7)
計	2 (2.8)	8 (41.3)	16 (22.5)	23 (32.4)	12 (16.9)	6 (8.5)	4 (5.5)

b 開講スポーツ種目

スポーツ種目 グループ	1 バスケットボール	2 バレーボール	3 サッカーボール	4 テニス	5 軟式テニス	6 卓球	7 ハンドボール	8 柔道	9 バドミントン	10 ソフトボール	11 野球	12 剣道	13 水泳	14 ダンス	15 陸上競技	16 体操	17 トレーニングコース	18 ラグビー	19 スケート	20 スキー	21 弓道	22 ゴルフ	23 ソシアルダンス	24 ホッケー	25 洋弓	26 マツト運動	27 ローラースケート	28 クラシツクバレエ	29 トランポリン	30 なぎなた	31 ヨツト	32 タツチフツトボール	33 なわとび	34 フリーテニス	35 ボーリング
A	25	26	26	21	6	21	16	16	17	13	12	13	10	11	9	7	13	6	5	3	3	4	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
B	28	30	29	26	12	22	12	17	21	18	16	10	10	11	9	7	11	8	5	5	3	3	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
C	15	12	11	11	4	10	6	8	11	9	4	6	7	5	3	5	7	2	2	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
計	68	68	66	58	22	53	34	41	49	40	32	29	27	27	21	19	31	16	12	10	8	7	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(注) 数値は大学数

B 特別体育種目またはコースの開設について

開設種目 グループ	保健 コース	リ ハ ビ リ テ イ シ ヨ ン	軽 ス ポ ー ツ	卓 球	バ ド ミ ン ト ン	ゴ ル フ	体 操	水 泳	ゲ ー ト ボ ー ト	フ ォ ー ク ダ ン ス	洋 弓	テ ニ ス	和 弓	ラ ン ニ ン グ	ス ケ ー ト	ボ ー リ ン グ	ス ポ ー ツ マ ツ サ ー ジ	歩 行
A	3	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1
B	5	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	3	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0
計	11	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(注) 特別体育種目またはコースとは身体虚弱者、肢体不自由者、病的
要注意者など特別な体育教育を必要とするもののための体育実技学
習種目またはコースである。

なお 数値は大学数

C 野外活動種目の開設について

開設種目 グループ	スキ ー	水 泳	登 山	ス ケ ー ト	キ ャ ン プ	ボ ー ト	ヨ ツ ト	ゴ ル フ	オ リ エン テ ー リ ン グ	水 上 スキ ー	ス キ ン ダ イ ビ ン グ	ハ イ キ ン グ	ロ ー ド レ ー ス
A	14	7	5	2	3	3	1	1	1	1	0	0	0
B	11	8	4	2	1	2	1	0	0	0	0	1	2
C	6	6	1	3	2	0	0	1	0	0	1	0	0
計	31	21	10	7	6	5	2	2	1	1	1	1	2

(注) 野外活動種目とは学内体育施設以外の自然環境を利用するの体育
実技種目をいう。 なお、数値は大学数

II 保健体育の履修方法について

講義および実技の履修方法

()内は各グループ毎及び全調査校を母数とした%

内容 履修学期 グループ	講 義					実 技				
	1 学期 で履 修	2 学期 の間 で履 修い づ	3 学期 の間 で履 修い づ	4 学期 の間 で履 修い づ	そ の 他	1 学期 で履 修	2 学期 で履 修	3 学期 で履 修	4 学期 の間 で履 修	そ の 他
A	19 (73.1)	4 (15.4)	1 (3.8)	1 (3.8)	1 (3.8)	0	2 (7.7)	11 (42.3)	11 (42.3)	2 (7.7)
B	16 (53.3)	8 (26.7)	2 (6.7)	1 (3.3)	1 (3.3)	0	4 (13.3)	7 (23.3)	16 (53.3)	3 (10.0)
C	8 (53.3)	6 (40.0)	1 (6.7)	0	0	0	4 (13.3)	2 (13.3)	8 (53.3)	1 (6.7)
計	43 (60.3)	18 (25.3)	4 (5.6)	2 (2.8)	2 (2.8)	0	10 (14.1)	20 (28.2)	35 (49.3)	6 (8.5)

(注) 数値は大学数

III 保健体育の学習条件について

1) 講義の学習条件

()内は各グループ毎、及び全調査校を母数とした%

グループ 学習条件	A	B	C	計
イ かなり自由に教 官を選択する	大学 4 (15.4)	大学 4 (13.3)	大学 2 (13.3)	大学 10 (14.1)
ロ 一般授業のクラ スにしたがつて 行なわれる。	22 (80.8)	21 (70.0)	10 (66.7)	53 (74.6)
ハ そ の 他	0	5 (16.7)	3 (20.0)	8 (11.3)

2) 実技の学習条件

()内はグループ毎、及び全調査校を母数とした%

グループ 学習条件	A	B	C	計
イ 一般授業クラス をそのまま実技 クラスとする	大学 1 (3.8)	大学 6 (20.0)	大学 4 (26.7)	大学 11 (15.5)
ロ 数種の実技種目 を示し、その範 囲内で学生の自 由選択により実 技クラスを編成する	15 (57.7)	23 (76.7)	9 (30.0)	47 (66.2)
ハ 体力テスト等を 実施し、体力別 受講コースを大 別し、それぞれの 受講コース内 の実技種目選択 により実技クラ スを編成する。	5 (33.3)	1 (6.7)	0	6 (8.5)
ニ そ の 他	5 (19.2)	0	2 (13.3)	7 (9.9)

3) 授業クラスの大きさとその数

() 内はグループ毎調査校を母数とした% 数値は大学数

開講 グループ 1クラスの学生数	講義				実技								野 外 コ ー ス			
					ス ポ ー ツ 種 目				特 別 種 目							
	A	B	C	計	A	B	C	計	A	B	C	計	A	B	C	計
30名以下	0	0	0	0	0	1 (3.3)	5 (33.3)	6 (8.5)	10 (38.5)	9 (30.0)	2 (13.3)	21 (30.0)	2 (7.7)	5 (16.7)	3 (20.0)	10 (14.1)
50名前後まで	0	1 (3.3)	0	1 (1.4)	18 (69.2)	20 (66.7)	9 (60.0)	47 (66.2)	4 (15.4)	0	1 (6.7)	5 (7.0)	1 (3.8)	0	1 (6.7)	2 (2.8)
70名前後まで	4 (15.4)	6 (16.7)	4 (26.7)	14 (19.7)	3 (11.5)	6 (20.0)	1 (6.7)	10 (14.1)	0	0	1 (6.7)	1 (1.4)	2 (7.7)	0	0	2 (2.8)
150名前後まで	13 (50.0)	17 (56.7)	4 (26.7)	34 (47.9)	4 (15.4)	3 (10.0)	0	7 (9.9)	0	0	0	0	2 (7.7)	0	0	2 (2.8)
200名前後まで	6 (23.1)	5 (16.7)	7 (46.7)	18 (25.3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200名以上	3 (11.5)	1 (3.3)	0	4 (5.6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5 (16.7)	3 (20.0)	8 (11.3)
特別種目・野外コースを特 に開設しない	0	0	0	0	0	0	0	0	10 (38.5)	16 (53.3)	10 (66.7)	36 (50.7)	11 (42.3)	7 (23.3)	4 (26.7)	22 (31.0)
無回答	0	0	0	0	1 (3.8)	0	0	1 (1.4)	2 (7.7)	4 (13.3)	1 (6.7)	7 (9.9)	8 (30.8)	14 (46.7)	4 (26.7)	26 (36.6)

才三部 施設に間する質問事項

I 体育関係施設

1) 保有している運動施設について(但し表中の()内の数字は兼用施設)

運動施設 グループ	イ 体 育 館 (A)	ロ " (B)	ハ " (C)	ニ " (D)	ホ 柔 道 場	ヘ 剣 道 場	ト 弓 道 場	チ テ ニ ス コ ー ト	リ バ レ ー ボ ー ル コ ー ト	ヌ 屋 外 プ ー ル	ル 屋 内 プ ー ル	ヲ サ ッ カ ー 場	ワ ラ グ ビ ー 場	カ ホ ッ ケ ー 場	ヨ ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト	タ 野 球 場	レ 陸 上 競 技 場	ソ バ ス ケ ッ ト ボ ー ル コ ー ト	ツ バ ト ミ ン ト ン コ ー ト	ネ ゴ ル フ 練 習 場	ナ ボ ー ト コ ー ス	ラ ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	ム 馬 場	ウ 卓 球 場	キ ダ ン ス 室	ノ 艇 庫	オ 合 宿 場	ク 運 動 部 屋	ヤ 海 の 家	マ 山 の 家	ケ そ の 他 の 運 動 施 設
A	24	7	12	8	24 (1)	9 (14)	23	26	21 (2)	21	0	11 (12)	3 (15)	1 (5)	9 (9)	17 (4)	16 (4)	9 (9)	2 (11)	2	5 (1)	14	3	1 (1)	1	1	16	22	3	11	10 (4)
B	29	7	3	2	28 (6)	28 (6)	21	30	22 (2)	26	0	26 (20)	24 (19)	3 (2)	14 (8)	25 (8)	26 (8)	14 (8)	13 (8)	2 (1)	3 (1)	9 (1)	3	2	1	4	15	25 (1)	9	12	5
C	12	3	3	3	12 (6)	12 (6)	9	15	11 (3)	11	0	8 (7)	7 (7)	0	7 (3)	10 (5)	7 (4)	7 (3)	6 (4)	0	0	1	0	0	0	1	7 (1)	10 (3)	3 (1)	3	3
計	65	17	18	13	64 (13)	49 (26)	53	71	54 (7)	58	0	45 (39)	34 (41)	4 (7)	30 (20)	52 (17)	49 (16)	30 (20)	21 (23)	4 (1)	8 (2)	24 (1)	6	3 (1)	2	6	38 (1)	57 (4)	15 (1)	26	18 (4)

(註1) 体育館のA・B・C・Dの区分は次のようである。

A: バスケット, バレー, ハンドボール等の球技の可能な総合体育館

B: 体操, トレーニング等を主体とするもの

C: 卓球, バドミントン等のスポーツ種目を主体とするもの

D: その他の屋内体育施設

(註2) ケのその他の運動施設は射撃場, 土俵, 補助グラウンドなどである。

(註3) 数値は大学数

2) トレーニンググループについて (内は各グループ毎調査校を母数とした%)

内 容 グ ル ー プ	項 目		収 容 人 員				問 題 点 及 び 希 望								
	有 あ り	無 な し	五 〇 人 以 下	七 〇 人 前 後	一 五 〇 人 前 後	無 回 答	専 用 施 設 が 必 用 で あ る	用 具 が 不 十 分 で あ る	用 具 設 備 の 予 算 不 足	用 具 収 納 設 備 の 必 要	施 設 が 狭 く 改 修 の 要	新 設 計 画 中	体 育 セ ン タ ー 設 置 計 画 中	特 記 す べ き 点 な し	無 回 答
A	19 (73.1)	7 (26.9)	12	2	1	4	3	2	2	1	2	2	0	8	6
B	12 (40.0)	18 (60.0)	10	0	0	2	3	2	1	0	3	3	1	0	17
C	2 (13.3)	13 (86.7)	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	11
計	33 (46.5)	38 (53.5)	23	2	1	7	7	4	3	1	6	6	1	9	34

(注) 数値は大学数

3) 更衣室・ロッカー・シャワーについて

A 更衣室・ロッカー ()内は各グループ毎調査校を母数にした%

種別 項目	更衣室																ロッカー																																									
	有 無		収容人員					問題点及び希望									有 無		収容人員					問題点及び希望																																		
	あ	な	一	二	三	四	無	男	設	改	狭	設	利	管	設	特	無	あ	な	一	一	二	三	四	五	無	不	設	運	専	管	狭	男	個																								
内 容 グループ	り	し	五	七	五	〇	〇	〇	男女別専用施設が必要	設 置 希 望	改 修 の 必 要	狭小のため拡張の要求	設備の不備	利用上の不便について	管理上の困難について	設置場所悪く利用に不便	特記すべき点なし	無 回 答	り	し	〇	五	〇	〇	〇	〇	回 答	充 分	設備増設希望	運動クラブに専用されがち	専用設備が必要	管理困難	狭い	男・女専用ロッカーの必要	個人専用ロッカーの必要																							
			〇	〇	〇	〇	〇	〇													〇	〇	〇	〇	〇	〇										〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		
			人	人	人	人	人	人													人	人	人	人	人	人										人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
			以	前	前	前	前	前													前	前	前	前	前	前										前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
			下	後	後	後	後	後													上	答	答	答	答	答										答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答	答
A	23 (88.5)	3 (11.5)	3	3	3	4	4	6	0	3	1	4	0	3	1	0	0	0	14	21 (80.8)	5 (19.2)	6	1	2	4	1	6	1	0	5	0	1	0	1	1	1																						
B	28 (90.0)	2 (7.7)	6	2	9	4	2	0	5	0	1	0	6	0	0	1	1	1	20	25 (83.3)	5 (16.7)	10	5	3	2	0	3	2	2	1	0	2	2	1	0	0																						
C	15 (57.7)	0	7	6	2	0	0	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	0	8	13 (86.7)	2 (13.3)	7	5	1	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0																						
計	66 (93.0)	5 (7.0)	16	11	14	8	6	6	5	3	3	4	10	5	1	1	1	1	42	59 (83.1)	12 (17.0)	23	11	6	6	1	9	3	3	8	2	4	2	2	1	1																						

(注) 数値は大学数

B シャワー ()内は各グループ毎，調査校を母数とした%

項目 内容 グループ	有 無		設 置 数					温 冷 水		問題点及び希望									
	あ	な	一 一 二 三 無					温	冷	無	不	改	設	温	一	冬	増	管	各
			五	六	一	六	一												
A	20 (76.9)	6 (23.1)	8	7	1	1	1	9	9	2	1	1	2	7	1	1	0	0	0
B	27 (90.0)	3 (10.0)	11	8	5	0	0	7	20	0	0	0	2	7	0	0	2	2	1
C	14 (93.3)	1 (6.7)	6	4	3	0	0	7	7	0	2	1	0	5	1	0	0	0	0
計	61 (85.9)	10 (14.1)	25	19	9	1	1	23	36	2	3	2	4	19	2	1	2	2	1

(注) 数値は大学数

4) 学内体育施設・用具の管理・保繕職員について
()内は各グループ毎，調査校を母数とした%

項目 内 容 グ ル ー プ	有 無		構 成		職 員 数										問題点及び希望				
	い る	い な い	専 任 の み	兼 任 及 び 非 常 勤	専 任					兼 任			非 常 勤		専 任 が 必 要	増 員 の 要 あ り	管 理 者 必 要	職 員 宿 泊 施 設 が 必 要	
					一	二	三	そ	無	一	二	そ	一	二					そ
A	20 (76.9)	6 (23.1)	10	10	10	1	1	1	1	3	0	0	6	1	0	7	4	0	1
B	17 (56.7)	13 (43.3)	5	12	6	2	0	0	0	4	0	1	5	3	1	10	4	2	0
C	4 (26.7)	11 (73.3)	1	3	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0
計	41 (57.7)	30 (42.3)	16	25	17	3	1	1	1	8	0	2	12	4	1	19	8	2	1

(注) 数値は大学数

5) 体育施設使用調整機関について
()内はグループ毎，調査校を母数とした%

項目 内容 グループ	有 無		構 成 員							機 能				所 在			
	あ	な	教	官	職	教	官	教	官	職	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	全	学
A	21 (80.8)	5 (19.2)	1	11	0	4	0	1	4	0	7	0	6	8	13	3	2
B	20 (66.7)	10 (33.3)	0	5	1	6	2	2	4	2	6	0	9	3	15	3	2
C	8 (53.3)	7 (46.7)	0	2	5	0	0	0	1	0	5	0	1	2	6	1	1
計	49 (69.0)	22 (31.0)	1	18	6	10	2	3	9	2	18	0	16	13	34	7	5

(注) 数値は大学数

II 保健管理施設

()内は各グループ毎、調査校を母数とした%

項目 内容 グループ	施設と名称	職員構成	職員数	機能	管理運営の主体							
	保健管理センター 保健室 医務室 その他 無回答	専任 兼任 非常勤 専任 非常勤 専任 非常勤 無回答	5人 6人 10人 15人 20人 25人 30人 40人 無回答	健康診断 健康相談 健康相談 救急当番 レントゲン撮影 予防接種 その他	保健委員会 保健センター(独立) 学務部 庶務部 教養部 分校 分学科 各学回 無回答							
A	16 (615)	6 (231)	0 ()	3 (115)	1 (38)	2 (615)	0 (231)	0 ()	4 (115)	13 (38)	4 (38)	3 (38)
B	12 (460)	14 (467)	2 (67)	1 (33)	1 (33)	10 (460)	1 (467)	0 (67)	3 (33)	7 (33)	5 (33)	4 (33)
C	7 (467)	5 (333)	1 (67)	1 (67)	1 (67)	2 (467)	1 (333)	0 (67)	2 (67)	2 (67)	5 (67)	3 (67)
計	35 (493)	25 (352)	3 (42)	5 (70)	3 (42)	14 (493)	2 (352)	0 (42)	9 (70)	22 (42)	14 (42)	10 (42)

(註) 数値は大学教

Ⅲ 体育施設の一般開放（学外開放）について
（ ）内は各グループ毎，調査校を母数とした％

項 目 内 容 グ ル ー プ	有 無		開 放 の 内 容							開 放 の 程 度					開 放 し な い 理 由			
	し て い る	し て い な い	一 部 特 定 施 設	地 域 ス ポ ー ツ 行 事	授 業 課 外 活 動 以 外 の 空 い て い る と き	中 ・ 高 体 育 大 会	ス ポ ー ツ 教 室 開 催	特 定 団 体 の 催 み	そ の 他	毎 週 一 回 程 度	月 に 一 回 程 度	不 一 定 の 期 間	そ の 他	管 理 上 の 問 題	余 裕 が な い	そ の 他	無 回 答	
A	10 (385)	16 (615)	4	2	1	1	0	0	2	0	0	0	4	5	8	6	1	1
B	14 (467)	16 (533)	7	4	1	1	1	0	0	1	1	3	7	2	11	4	0	1
C	4 (267)	11 (733)	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	1	4	6	0	1
計	28 (394)	43 (606)	12	6	2	2	2	2	2	1	1	3	13	8	23	16	1	3

（注）数値は大学数

才四部 課外活動に関する質問事項

I 課外体育活動組織について

1) 運動部の組織 （ ）内は各グループ毎，調査校を母数とした％

項目 内容 グループ	有 無			名 称		構 成		所管部局		保健体育課との関係											
	あ る	な い	無 回 答	体 育 会	学 友 会	学 生 自 治 会	そ の 他	教 官 ・ 教 員 ・ 学 生 ・ 先 輩	教 官 ・ 教 員 ・ 学 生 ・ 先 輩	教 官 ・ 教 員 ・ 学 生 ・ 先 輩	教 官 ・ 教 員 ・ 学 生 ・ 先 輩	無 回 答	学 生 保 健 課	無 回 答	あ な 無 回 答						
A	23 (885)	0 ()	3 (115)	13	4	3	3	2	3	7	9	1	1	3	23	0	3	7	10	9	
B	30 (1000)	0 ()	0 ()	7	8	9	3	0	3	1	2	2	0	1	3	26	0	4	9	14	7
C	14 (933)	1 (67)	0 ()	8	2	2	2	1	1	4	7	1	0	1	14	0	1	8	6	1	
計	67 (944)	1 (14)	3 (42)	28	14	14	8	3	7	12	38	2	2	7	63	0	8	24	30	17	

（註）数値は大学数

2) 同校会及び体育・スポーツ行事のための組織

()内は各グループ毎、調査校を母数とした%

組織 項目 内容 グループ	同 好 会				ス ポ ー ツ 行 事 の た め の 組 織											
	有	無	名	称	構	成	所 管 部 局	有	無	名	称	構	成	所 管 部 局	保 健 体 育 科 と の 関 係	
	あ	な	無	体 学 学 そ	学 教 教	生 官 職	学 保 そ	あ	な	無	体 学 学 そ	学 教 教	生 官 職	学 保 そ	あ	な
	り	し	答	育 生 自 の 治	の 学 学	の 学 学	の 学 学	回	り	し	答	育 生 自 の 治	の 学 学	の 学 学	の 学 学	の 学 学
A	14	12	0	4 3 1 5	6 4 2	8 0 3	12 14 0	3 3 2 2	6 1 1 1	8 0 3	6 5					
B	23	7	0	0 4 2 4	9 1 0	7 1 1	16 14 0	3 1 3 7	11 1 2 0	12 1 0	4 5					
C	11	3	1	3 1 0 3	3 2 1	6 0 1	8 7 0	4 0 2 1	2 0 0 2	3 0 2	5 2					
計	48	22	1	7 8 3 12	18 7 3	21 1 5	36 35 0	10 4 7 10	19 2 3 3	23 1 5	15 12					

(注) 数値は大学数

II 運動部・同好会・スポーツ行事の種目について

1) 運動部

種目 グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
	バスケットボール	バレーボール	サッカー	軟式庭球	硬式庭球	硬軟不明テニス	卓球	ハンドボール	柔道	バドミントン	水泳	軟(準硬)野球	硬式野球	野球(軟硬不明)	ソフトボール	トレーニング	剣道	ラグビー	陸上競技	ダンス	体操	スキー	ゴルフ	スノーボード	弓道	ボクシング	空手	フエンシング	アメリカンフットボール	合気道	馬術	ヨット	ボート	自転車	自転車	ワンダーフォーゲル
A	23	23	23	11	11	12	23	20	23	22	23	11	10	12	0	2	23	22	23	15	20	11	6	17	23	7	22	8	4	13	14	18	16	17	2	19
B	30	30	30	12	11	17	30	21	30	28	26	12	10	19	4	1	30	29	30	23	23	5	2	13	29	4	29	6	2	10	12	17	20	22	2	26
C	14	13	12	4	4	9	12	7	12	9	10	1	1	11	0	2	13	10	8	4	7	1	0	5	11	1	12	1	0	4	0	9	6	3	1	10
計	67	66	65	27	26	38	65	48	65	59	59	24	21	42	4	5	66	61	61	42	50	17	8	35	63	12	63	15	6	27	26	44	42	42	5	55

種目 グループ	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72
	レスリング	ウエイトリフティング	ホッケー	すも	登山(山岳)	スキー山岳	少林寺拳法	拳法	航空(グライダー)	アーチェリー	アイスホッケー	カヌー	古武道	射撃(ライフル)	ボディビルディング	モーターボート	キャンピングツア	ユースホステル	ケイビン	フオークダンス	自然に親しむ会	ハイキング	跋涉グループ	サイクリング	探険部	応援団	マッスルクラブ	ローバースカウト	潜水科学	なぎなた	サーフィウステン	単車会	ソーシャルダンス	創作舞踊	カッパ	ボリ
A	1	5	9	1	21	1	15	0	9	9	3	1	1	5	1	1	1	3	2	0	1	1	1	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	0	1	3	1	25	0	10	2	4	6	1	0	0	3	0	0	0	4	1	1	0	1	0	5	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
C	0	1	0	2	11	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
計	1	7	12	4	57	1	27	3	13	15	4	1	1	8	2	1	1	7	3	1	1	2	1	9	5	4	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1

(註) 数値は大学数

2) 同 好 会

種 目 グ ル ー プ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
	バスケットボール	テニス	ゴルフ	ボウリング	ソフトボール	ボクシング	スキート	スケート	魚釣り	アーチェリー	合気道	体操	モーターサイクリング	サツカ	バレーボール	バトミントン	卓球	トレニング	フエンシング	自転車	拳法	ボブスレー	ダンス	ワンダーフォーゲル	アメリカンフットボール	山岳	ボート	ラクトビー	ハンドボール	空手	探険	自転車	少林寺拳法	航空	ボート	水泳	
	A	2	5	1	7	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	B	1	3	3	6	2	2	5	1	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	2	0	0	1	1	1	1	2	0	2	1	1	3
	C	1	2	2	3	0	1	3	3	0	2	1	0	0	2	3	1	1	0	0	2	1	0	3	4	1	2	0	1	2	1	0	1	3	0	0	2
計	4	10	6	16	4	4	10	5	1	6	6	2	1	3	4	2	4	1	2	4	2	1	9	7	1	2	1	2	3	2	2	1	5	1	1	5	

Ⅲ 個人の自主的体育・スポーツ活動について

()内は各グループ毎、及び全調査校を母数とした%

種 目 グ ル ー プ	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	レ ス リ ン グ	ク ル リ ン ザ ー	卓 球	剣 道	す り 道	弓 道	居 合 道	陸 上 競 技	社 交 ダ ン ス	ト ラン ポ リ ン ト	ヨ ッ ト
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
計	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1

(主) 数値は大学数

方 法	グ ル ー プ	A	B	C	計
用具の貸出し	している	大学 26 (100)	大学 28 (93.3)	大学 14 (93.3)	大学 68 (95.8)
	していない	0	2 (6.7)	1 (6.7)	3 (4.2)
使用場所の指定	している	18 (69.2)	19 (63.3)	7 (46.7)	44 (62.0)
	していない	8 (30.8)	11 (36.7)	8 (53.3)	27 (38.0)

第五部 改革状況に関する質問事項

1. 保健体育の改革について

イ	改革がなされた	13	(3: 8: 2)	19(12:27:13)
ロ	現在検討中	49	(20:19:10)	69(77:63:67)
ハ	改革の気運がある	5	(2: 1: 2)	7(8: 3:13)
ニ	気運もない	4	(1: 2: 1)	6(4: 7: 7)

2. イの具体的内容と問題点

・定クラス制をやめ選択必修制に改めた	講義 2(0:2:0)
・選択の巾を拡げた	実技 1(0:1:0)
・1教官、1種目当り学生数の減少(小人数制)	6(2:4:0)
・実技に集中方式と通常方式を組み合わせ履習させるようにした	3(1:2:0)
・1年次より3年次まで履習させるようにした	3(0:2:1)
・実技(2時間)と講義(1時間)を組み合わせ統合	1(0:0:1)
・自主的学習の重視・指導法の改善	1(0:1:0)
・視覚教材の活用(VTO その他)	2(0:1:1)
※問題点	2(0:1:1)
・自由選択制→履習しやすい期日、種目に集中する。	2(0:1:1)
・管理・指導の複雑化	1(0:0:1)
・教官数、体育施設・設備の不備	5(0:2:3)

3. 改革をすすめる場合の具体的内容と問題点

A 履習方法と指導のありかたについて		大学(計)	A	B	C	各校数に対する%
イ	講義・実技の選択の巾を拡げる	42	(14:19:9)	59	(54:63:60)	
ロ	講義の総合科目形式	17	(6:11:0)	24	(23:37:0)	
ハ	実技の体力別・能力別指導	26	(10:12:4)	37	(38:40:37)	

ニ 実技指導と課外活動との関連

大学(計) A B C 各校数に対する%
27 (9:12:6) 38(35:40:40)

(1) イの内容と問題点

・教官数・体育施設・設備の可能な限り開 催種目をふやす	34 (9:17:8)
・講義の内容・種類(ゼミナールなど)をふやす	6 (4:2:0)
・名種の実技選択コースを設ける	2 (1:0:1)

※問題点

・教官数体育施設・設備の現状から限界	19 (4:12:3)
・無制限にふやすことは質の低下をまね き易い。	4 (1:1:2)
・特定の種目に集中し易い	1 (0:0:1)
・時間割編成が難しい	1 (0:1:0)

(2) ロの内容と問題点

・保健体育独自の立場で総合化	12 (3:9:0)
・他教科との関連で総合化	5 (3:2:0)

※問題点

・体制づくりが困難	4 (0:4:0)
-----------	-----------

(3) ハの内容と問題点

・体力の劣る学生に対して特別コースを設ける	19 (8:8:3)
・運動技術の能力別クラスを設ける	4 (1:2:1)
・指導の過程で個人差を考慮する	3 (1:2:0)

※問題点

・人数の点でうまくいかない	1 (1:0:0)
・時間割り編成が困難	1 (1:0:0)
・指導スタッフの不足、施設・用具の不備	6 (3:2:1)

(4) ニの内容と問題点

・正課体育と課外体育との関連の強化	9 (4:4:1)
-------------------	-----------

	大学(計)	A	B	C	各校数に対する%
・自発的体育活動への指導	7	(2:3:2)			
・スポーツ教室等	7	(2:4:1)			
・施設の提供(特に一般学生のスポーツ活動)	2	(1:0:1)			
・全学的、管理、指導組織の確立	2	(0:1:1)			
※問題点					
・教官の負担が大きい	3	(1:2:0)			
・学生の自治活動との関係	3	(1:2:0)			
・体育施設の不備・不足	2	(1:1:0)			
・運動部と一般学生の活動の調整	1	(1:0:0)			
B 実技種目のありかた					
イ 高校履習種目を中心に	26	(8:13:5)	37	(31:43:33)	
ロ 高校履習以外の種目を中心に	21	(9:8:4)	30	(35:27:27)	
ハ 野外活動	51	(19:20:12)	71	(73:67:80)	
ニ その他の形式、実技種目の開講	7	(2:1:4)	11	(7:3:27)	
(1) イロの内容と問題点					
・既習種目(中、高)を中心に開講	18	(5:9:4)			
・社会人として将来必要な未習種目中心に開講	14	(7:4:3)			
・既習種目と未習種目を半々とする。	8	(3:4:1)			
・別にこだわらない	7	(2:4:1)			
※問題点					
・教官数、体育施設の不備、不足	9	(3:5:1)			
(2) ハ野外活動					
・正課として実施	28	(9:12:7)			
・課外として実施	13	(5:4:4)			
・検討中	4	(1:3:0)			
・問題が多く実施できない。	6	(4:1:1)			

	大学(計)	A	B	C
※問題点				
学生の経済的負担が大きい	13	(8:3:2)		
種目、指導管理上の問題が多い	10	(4:3:3)		
(3) ニの具体的内容と問題点				
・総合コースの開講	3	(1:0:2)		
・運動部活動を一定の範囲で正課にくれ入れる	1	(1:0:0)		
・3.4年生に野外活動を必修化	2	(0:0:2)		
・一般学生に、週2回(2時間)の自由練習時間を (学生は自主的に練習、その成果を評価し、正課 の単位に一部くりこむ)	1	(0:1:0)		
4. 大学体育の問題点および要望事項				
・体育施設の整備・拡充	19	(8:7:4)		
・定員増	17	(6:7:4)		
・施設管理、保繕費の増額と職員の設定員化	4	(2:2:0)		
・研究費、関係経費の増額	2	(0:0:2)		
・野外活動の予算化	2	(0:0:2)		
・傷害保険の早期確立	1	(1:0:0)		
・正課体育の4年間施設、そのための条件整備	1	(1:0:0)		
・多人数教育の改善	1	(1:0:0)		
・保健体育組織の再構成	1	(1:0:0)		
・研究、教育、サービスの機能をもつ体育センターの設置	3	(2:1:0)		
・研究施設の設置	1	(1:0:0)		
※施設についての要望(種別)				
・室内プールの設置	7	(4:2:1)		
・体育館の多機能化、高層化	6	(4:1:1)		
・野外施設の設置	2	(2:0:0)		
※問題点				
・サービス機関としての体育センターには問題がある	2	(2:0:0)		